

二十三回蒼天句会 今月の一句

令和六年九月十二日 兼題… 鰯雲、又は自由

折り鶴を開かば四角ひろしま忌

公子

女子会のこぼれ話にアイス盛る

婦紗子

聞き取れぬ防災無線いわし雲

賢一

網を干す浜にひろがる鰯雲

繁一

新涼や第一句集ならぶ書架

孝志

天をつく入道雲や我はたち

ムツミ

ご先祖とつもる話や彼岸花

信江

バスを待つベンチに一人鰯雲

静江

白露過ぎやっど驚く風の音

鎮夫

月白の横浜埠頭街光る

隆彦

「今」「ここ」を楽しみてをり鰯雲

隆男

二拍子で鳴らす鋏や松手入れ

重子

京の町葺の波と鰯雲

紹子

ウォーキング今日は止めたり暑気払ひ

久恵